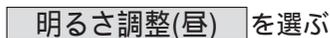
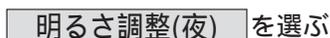
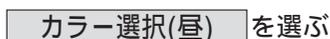
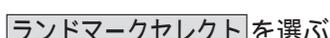


利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内容		操作			
地図表示に関する設定	高速道マップを表示する (準備・基本編：「地図の紹介」)	都市間	都市間高速を走行時、「ハイウェイマップ」か「ハイウェイサテライトマップ」で表示する。	 地図表示設定 を選ぶ	 ◀▶で次ページを表示 高速道マップ(都市間) を選ぶ		
		都市内	都市高速を走行時、「ハイウェイマップ」か「都市高マップ」で表示する。			 高速道マップ(都市内) を選ぶ	
	フロントワイドで表示する	ノースアップ	進行方向の地図を広く表示するか、自車マークを地図画面の中心に表示する。			 フロントワイド(ノースアップ) を選ぶ	 フロントワイド(ヘディングアップ) を選ぶ
		ヘディングアップ					
	3Dスクロール表示を設定する		3D表示の状態での地図の移動を行う。または2D表示に戻して地図の移動を行う。			 スクロールモード を選ぶ	「2D」 「3D」を選ぶ
	縮尺切り替えを設定する		ズームイン/ズームアウトの感覚で画面を拡大/縮小する。			 縮尺切替 を選ぶ	「リニア」 「ノーマル」を選ぶ
	画面の明るさを調整する	昼モード	画面の明るさを調整する。			 明るさ調整(昼) を選ぶ	「明るい」 「中間」 「暗い」を選ぶ
		夜モード				 明るさ調整(夜) を選ぶ	
	地図画面のカラーを変更する	昼モード	画面のカラーの基本色を変更する。			 カラー選択(昼) を選ぶ	「クリア(昼モード時)」 「ソフト」 「クール」 「ディマー(夜モード時)」を選ぶ
		夜モード				 カラー選択(夜) を選ぶ	
走行軌跡を表示する (54ページ)		自車が走行した軌跡を青い点で表示する。(最長50 kmまで) 「表示しない」を選ぶと、走行軌跡が消去されず。	 走行軌跡 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ			
抜け道を表示する (36ページ)		抜け道を表示する。(縮尺：10 m～400 m) 東京、名古屋、大阪の市街地およびその周辺の観光地のみ。	 抜け道 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ			
ランドマークセレクト (準備・基本編：「地図の見かたと操作を覚えよう」)		ランドマークを、種類ごとに表示する。 (凡例については139ページを参照してください。)	 ランドマークセレクト を選ぶ	「おすすめ表示」「3Dランドマーク」 表示したいランドマークを選ぶ			

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える(地図表示設定)

利用に応じた設定に変える

ルート案内中に設定を変更すると、自動的に再探索を行います。

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内容	操作			
探索・案内に関する設定	ルートからはずれたときの自動探索を設定する (☞36ページ)	1  メニュー画面 情報・設定から ナビゲーション設定 を選ぶ	2  探索案内設定 を選ぶ	3  オートリルート を選ぶ ◀▶で次ページを表示	4  「する」 「しない」を選ぶ	
	細街路探索を設定する (☞32ページ)	出発地・経由地・目的地周辺の細い道(3.3 m以上5.5 m未満)も含めてルートを探査する。		オートリルート を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ	
	インテリジェントルート探索を設定する (☞34ページ)	普段よく通る道を自動的に登録し、ルート探索に反映する。 別売の自立航法ユニットを接続していない場合は、十分な自車位置精度が得られないため、誤ったルートが登録される場合があります。		探索案内設定 を選ぶ	細街路探索 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	横付け探索を設定する (☞32ページ)	経由地・目的地付近の道幅が広い場合(約13 m以上) 経由地や目的地の地点の前に到着するようにルートを探査する。			インテリジェントルート を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	曜日時間規制探索を設定する (☞32ページ)	規制時間帯(月/曜日/時間)を考慮して探索するか、これらを考慮せずに常時規制されている状態とみなして探索するかを設定する。			横付け探索 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	高速道優先のレベルを設定する (☞32ページ)	高速道優先で探索するとき、高速道路を優先する割合を設定する。			曜日時間規制 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	ハイウェイ分岐案内を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	3Dハイウェイ分岐案内を表示する。			高速道路優先設定 を選ぶ	「高レベル」 「標準」を選ぶ
	ハイウェイ入口案内を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	都市高速の入口付近で3Dハイウェイ入口案内を表示する。			ハイウェイ分岐案内 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	ETC拡大図を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	料金所付近でETC拡大図を表示する。 別売のETC車載器を使用している場合に、「表示する」に設定してください。 本機とETC車載器は接続できません。			ハイウェイ入口案内 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	一般道拡大図を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	交差点拡大図 交差点拡大図を表示する。 レーンガイド 3Dレーンガイドを表示する。			ETC拡大図 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
				交差点拡大図 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ	
				レーンガイド を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ	

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える(探索案内設定)

利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内 容	操 作		
探索・案内に関する設定	方面看板を表示する (準備・基本編：「地図の紹介」)	1  1 メニュー画面 情報・設定から ナビゲーション設定 を選ぶ	2  2 探索案内設定 を選ぶ	3  3 ◀▶で次ページを表示 方面看板 を選ぶ	4  4 「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	レーン看板を表示する (準備・基本編：「地図の紹介」)	一般道でのルート案内中、レーン看板を表示する。		レーン看板 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	ルートガイドを表示する (準備・基本編：「地図の紹介」)	一般道でのルート案内中、ルートガイドを表示する。		ルートガイド表示 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	カーブの音声案内を設定する	ルート案内中に、カーブの音声案内をする。		カーブ案内 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	分岐点の音声案内を設定する	分岐点までの距離と曲がる方向を音声案内するとき、その交差点名や高速道路の方面名なども案内する。		分岐名称案内 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	残距離表示を設定する (準備・基本編：「走行中の案内について」)	残りの距離と到着予想時刻の表示を「目的地まで」か「経由地まで」にするかを設定する。		残距離表示 を選ぶ	「目的地」 「経由地」を選ぶ
	到着予想時刻の計算方法を設定する (準備・基本編：「走行中の案内について」)	到着予想時刻を算出する方法(自動/手動)を選ぶ。手動を選んだ場合、到着予想時刻を算出する際に基準となる平均車速(高速道・一般道)を入力する。		到着予想時刻 を選ぶ	「自動」 「手動」を選ぶ
	目的地方向の表示を設定する	現在地画面または地図モード画面で、目的地方向への直線を表示する。		目的地方向直線 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	ルートスクロールを設定する (42ページ)	ルート案内中、ルートに沿って画面をスクロールし、ルートを確認できる。		ルートスクロール を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
新旧ルート比較を設定する (38ページ)	DRGS、曜日時間規制探索でルートを変更するとき、変更前と変更後の比較画面を表示する。		新旧ルート比較 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ	

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える(探索案内設定)

利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

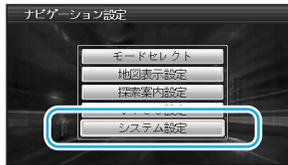
設定項目		内 容		操 作	
V I C S に 関 す る 設 定	交通情報を利用してルート探索する (☞34ページ)	1 	メニュー画面 情報・設定 から ナビゲーション設定 を選ぶ	2 	VIC S設定 を選ぶ
	文字情報・図形情報 を表示する (☞59ページ)	文字情報	ビーコンで受信した文字情報・図形情報を画面上に 自動表示する時間を設定する。	3 	VIC S経路探索 を選ぶ
	図形情報	表示時間を過ぎると消去されます。	◀▶で次ページを表示	文字情報 を選ぶ	「表示する(10秒)」「表示する(15秒)」「表示する(20秒)」 「表示しない」を選ぶ
	渋滞情報を表示する (☞59ページ)	渋滞情報を受信したときに渋滞を示す矢印を地図 上にどのタイプで表示させるか設定する。	図形情報 を選ぶ	渋滞情報 を選ぶ	「渋滞・混雑・渋滞なし」 「渋滞・混雑・不明」 「渋滞・混雑」 「表示しない」を選ぶ
	事象・規制マークを表示する (☞62ページ)	事象・規制マークを地図上に表示する。	事象・規制マーク を選ぶ	事象・規制マーク を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	駐車場マークを表示する (☞62ページ)	駐車場マークを地図上に表示する。	駐車場マーク を選ぶ	駐車場マーク を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	VIC S情報受信時の案内方法を設定する	案内方法を設定する。 「音声」 : 「(.....)でVIC S情報を受信しました」 と音声で案内します。 「ピープ音」 : 「ピッ」の音で案内します。 「案内しない」 : 受信時の案内は行いません。	VIC S受信案内 を選ぶ	VIC S受信案内 を選ぶ	「音声」 「ピープ音」 「案内しない」を選ぶ
	渋滞状況を自動表示する (☞40ページ)	VIC S音声案内時に、ルート前方の渋滞状況を地図 表示する。(VIC Sオートスケール)	VIC Sオートスケール を選ぶ	VIC Sオートスケール を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
チューナー設定 (☞60ページ)	受信状態によって放送局を自動的に切り替える。 (ネット選局)	チューナー設定 を選ぶ	チューナー設定 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ	

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える (VIC S設定)

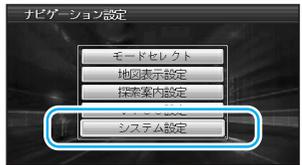
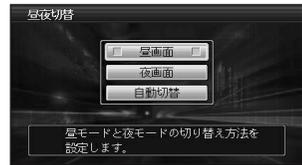
利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内 容		操 作	
システムに関する設定	ビープ音を設定する	1  メニュー画面情報・設定 から ナビゲーション設定 を選ぶ	2  システム設定 を選ぶ	3  ビープ音 を選ぶ	4  「ON」 「OFF」を選ぶ
	トークバック音声を設定する	トークバックする/しないを設定する。 操作した内容を音声案内することを「トークバック」と言います。本機の場合、ルート案内・VICS音声案内以外の音声のことです。 例：「周辺施設検索を開始します」など		3  トークバック を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	オープニング画面を設定する (☞106ページ)	SDメモリーカードに保存した画像データをオープニング画面として利用する。		3  オープニング を選ぶ	オープニング画面の画像を設定する
	メニュー画面の背景を設定する (☞106ページ)	SDメモリーカードに保存した画像データをメニュー画面の背景として利用する。		3  メニュー背景 を選ぶ	メニュー画面の背景の画像を設定する
	お気に入りジャンルを設定する	検索によく使うジャンルを「お気に入りジャンル」としてまとめて、ジャンル検索や周辺検索のときに役立つ。		3  お気に入り を選ぶ	「駅」 「ガソリンスタンド」 「駐車場」 「ファーストフード」 「ファミリーレストラン」 「都市銀行」 「コンビニエンスストア」 ジャンルを選ぶ ジャンル一覧表 (☞145ページ)  施設ジャンル名と企業名・小分類を登録できます。

利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内 容		操 作	
システムに関する設定	画面を昼/夜で切り替える	<p>1</p>  <p>メニュー画面 情報・設定 から ナビゲーション設定 を選ぶ</p>	<p>2</p>  <p>システム設定 を選ぶ</p>	<p>3</p>  <p>◀▶で次ページを表示</p> <p>昼夜切替 を選ぶ</p>	<p>4</p>  <p>「昼画面」 「夜画面」 「自動切替」を選ぶ</p>
	マップマッチングを設定する	<p>マップマッチングを設定する。</p> <p>通常は「する」に設定してください。 「しない」に設定すると、ルート案内やオートリルートなどを行いません。</p>	<p>マップマッチング を選ぶ</p>	<p>マップマッチング を選ぶ</p> <p>「する」 「しない」を選ぶ</p>	
	車速補正係数を設定する	<p>車速補正係数を、自動または手動に設定する。</p> <p>通常は、「自動」に設定してください。</p>	<p>車速補正係数 を選ぶ</p>	<p>車速補正係数 を選ぶ</p> <p>「自動設定」 「手動設定」を選ぶ 「手動設定」を選んだ場合は、 車速補正係数を入力する</p>	
	車種を設定する (8 ページ)	<p>車種の情報をもとに、条件に合った駐車場を検索する。 また、VICS情報と参照し、交通情報作成に役立てる。 別売のVICSビーコンユニットが必要です。</p>	<p>車種設定 を選ぶ</p>	<p>車種設定 を選ぶ</p> <p>車両の種類を選ぶ お買い上げ時の設定「小型車両」</p>	
	車高を設定する (8 ページ)	<p>車高の情報をもとに、条件に合った駐車場を検索する。</p>	<p>車高設定 を選ぶ</p>	<p>車高設定 を選ぶ</p> <p>車高を選ぶ お買い上げ時の設定「1.5 m」</p>	
	画面位置を調整する (8 ページ)	<p>画面の位置が気になる場合に調整する。</p> <p>通常、この操作は必要ありません。</p>	<p>画面位置調整 を選ぶ</p>	<p>画面位置調整 を選ぶ</p> <p>画面位置を調整する お買い上げ時の設定「X:0、Y:0」</p>	
	警告表示画面を設定する	<p>本機の電源を入れたとき、警告表示画面を表示する/しないを設定する。</p> <p>通常は「表示する」のまま、お使いください。</p>	<p>警告表示画面 を選ぶ</p>	<p>警告表示画面 を選ぶ</p> <p>「表示する」 「表示しない」を選ぶ</p>	
	タッチパネルの位置を調整する (8 ページ)	<p>タッチパネルで項目をうまく選べない場合に調整する。</p> <p>通常、この操作は必要ありません。</p>	<p>タッチパネル調整 を選ぶ</p>	<p>タッチパネル調整 を選ぶ</p> <p>タッチパネルを調整する</p>	
	本機の内容をお買い上げ時の状態に戻す	<p>登録ポイントなどの情報や、設定した内容がすべて消去される。十分確認のうえ、行ってください。</p>	<p>システムの初期化 を選ぶ</p>	<p>システムの初期化 を選ぶ</p> <p>「初期化する」 「前の画面に戻る」を選ぶ</p>	

利用に応じた設定に変える

ナビゲーション設定を登録する

(モードセレクト/ユーザー登録)

お好みの設定(現在の設定)内容を登録できます。(最大3件まで)

① メニュー画面 **情報・設定** から **ナビゲーション設定** を選ぶ



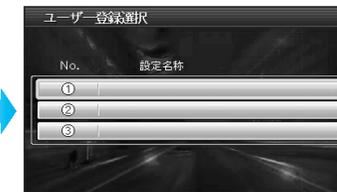
② **モードセレクト** を選ぶ



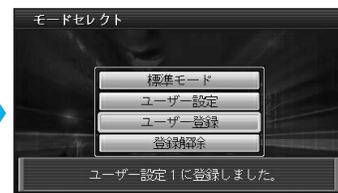
③ **ユーザー登録** を選ぶ



④ ①～③を選ぶ



⑤ 名称を入力し、**完了** を選ぶ

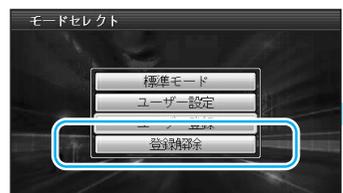


現在の設定内容が登録されます。

ユーザー登録した設定を解除(削除)する

① 上記手順③で

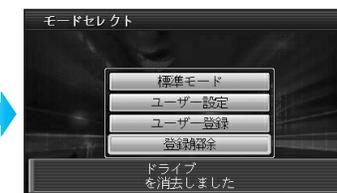
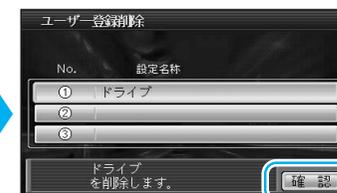
登録解除 を選ぶ



② 解除するモードを選ぶ



③ **確認** を選ぶ



ユーザー登録した設定に切り替える

(モードセレクト/ユーザー設定)

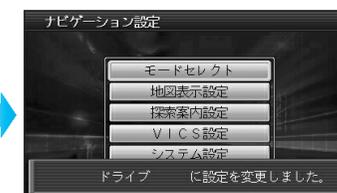
① ナビゲーション設定画面から **モードセレクト** を選ぶ



② **ユーザー設定** を選ぶ



③ ①～③を選ぶ



選んだモードに切り替わります。

お知らせ

おぼえのために、設定内容を記入してください。(P.82ページ)

お知らせ

手順②で「標準モード」を選ぶと、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、「ランドマークセレクト」および「システム設定」の全項目は、前の設定値のままになります。

テレビを見る

車内でテレビを見ると、電波の受信状態が悪く、テレビの映りがよくない場合は、別売のダイバーシティアンテナ (CL-T70D/CL-T80D/CL-T90D) をご利用ください。

テレビ画面に切り替える

① **モード** を押す



押すごとに、モード (画面) が切り替わります。

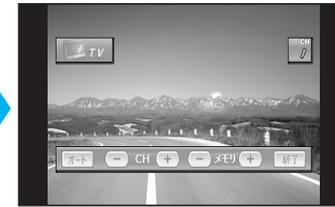
ナビ画面 → テレビ画面 → VTR画面 1
↑ カメラ画面 2

② チャンネルを記憶させる



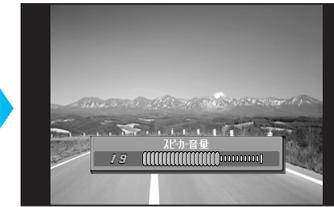
下記参照

③ チャンネルを選ぶ



下記参照

④ 音量を調整する



音量



お知らせ

- 地図ディスクを挿入しなくても、テレビを見ることはできます。
- テレビの音声はモノラルです。
- 1 ビデオ入力が「する」に設定されている場合のみ (※96ページ)
- 2 カメラ入力が「する」に設定されている場合のみ (※96ページ)
- 接続方法によっては、カメラ画面に切り替えてもカメラの画像が表示されず、シフトレバーを「リバース(R)」に入れたときのみ表示される場合があります。

チャンネルを選ぶ

チャンネルを記憶させて選ぶ (オートメモリー)

① 画面の一部をタッチして、メニューを表示させる



② **オート** を 2秒以上タッチする

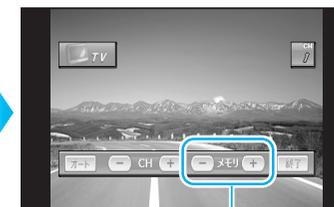


③ 記憶されたチャンネルを選ぶ



受信できるチャンネルを自動的に探して記憶します。(最大18局)

④ 記憶されたチャンネルを選ぶ



記憶したチャンネルに切り替わります。1秒以上タッチすると、もう一度チャンネルを記憶しなおします。

お知らせ

- 記憶されたチャンネルは、操作するたびに更新されます。
- 電波状況により、映らない (画質が悪い) チャンネルが記憶されることもあります。
- 受信できるチャンネルが見つからないときは、1周してもとのチャンネルに戻ります。
- 10キーでチャンネル番号を入力して選ぶこともできます。

チャンネルをひとつずつ選ぶ (手動選局)

① 画面の一部をタッチして、メニューを表示させる



② 1チャンネルずつ切り替える



1秒以上タッチすると、選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

走行中は、テレビの映像は表示されません。

安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

右は、走行中の画面例です。



リモコン操作の場合

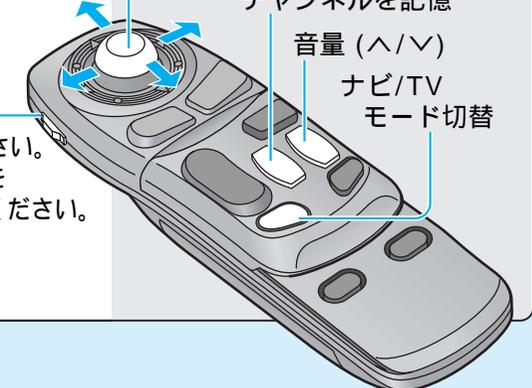
ジョイスティック
左右：手動選局/シーク選局
上下：オートメモリー

オートメモリー (+/-)
1秒以上押すと、チャンネルを記憶

音量 (▲/▼)
ナビ/TV
モード切替

操作切替スイッチ

通常は「NAVI」側で使用してください。SD覚えてルート中にテレビの操作をするときは「AV」側に切り替えてください。



DVDビデオを見る

ディスクの出し入れは、必ず停車中に行ってください。

再生できるディスクについて

ディスク	マーク(ロゴ)	ディスクの大きさ	映像方式	音声方式	リージョン番号
DVDビデオ (DVD)		12 cm 8 cm	NTSC	LPCM MPEG1/MPEG2 Dolby Digital	2 ALL

お願い

必ず、ディスクレーベル面に上記のロゴが入ったものなど、JIS規格に合致したものをご使用ください。規格外のディスクを使用すると、正しく再生されない場合があります。DVDビデオはディスク側の制約により本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。ディスクのジャケットなどをお読みください。

お知らせ

DVDのカラオケ機能には対応しておりません。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

再生できないディスク

リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDビデオ
NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたDVDビデオ
DVDオーディオ DVD-ROM DVD-RAM DVD-R DVD+R DVD-RW
DVD+RW dts DVD CD-ROM ビデオCD 音楽CD CD-R
CD-RW CD-G VSD CVD CDV SVCD
SACD ハイブリッドSACD CD-EXTRA Divx Videoディスク
MP3ファイルの収録されたディスク
フォトCD (再生すると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります) など

DVDに記載されているマークについて

リージョン番号

発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割りあてられた番号。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。本機のリージョン番号は、「2」です。ディスクに「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



画面サイズ(横:縦の比)

4:3の標準サイズ



レターボックス



16:9のワイドサイズ
モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。



モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。



モニターに映し出される映像のサイズは、画面比率の設定(94ページ)とディスク側の画面サイズによって異なります。

字幕言語数



音声言語数



アングル数



お願い

「ディスク・SDメモリーカードの取り扱い」をよくお読みください。(128ページ)

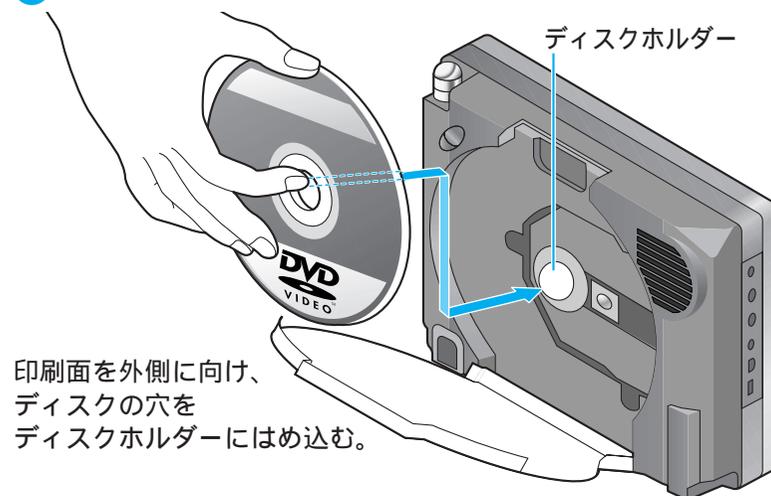
特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない。
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しない。
破損・変型したディスクは使用しない。
粗雑なディスク(バリのあるディスクなど)は使用しない。

DVDビデオを再生する

準備

安全な場所に停車して、地図ディスクを取り出してください。(準備・基本編:「準備・確認」)取り出した地図ディスクは、ケースに入れて保管してください。

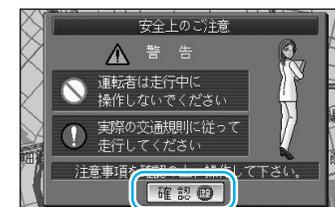
1 DVDビデオを本機に入れる



印刷面を外側に向け、ディスクの穴をディスクホルダーにはめ込む。

2 DVDビデオを再生する

- ① 車のエンジンをかける、またはACCに入れる
- ② 本機の電源を入れる
- ③ 警告表示画面が表示されたら、**確認** を選ぶ



DVDの再生が始まります。

DVDの再生が始まらないときは、**モード** を押してDVD画面に切り替えてください。

お知らせ

ディスクの出し入れについて、詳しくは準備・基本編:「準備・確認」をご覧ください。

走行中は、DVDの映像は表示されません。安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。下は、走行中の画面例です。



DVDビデオを見る

走行中は、DVDビデオの映像を見ることができません。
安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

DVDビデオの 基本再生

DVDビデオ再生中に、
画面にタッチする



タッチキーが表示されます。

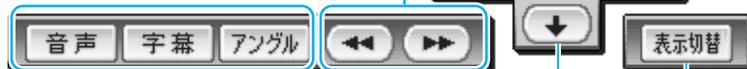


タッチキーを消去する。

タイトルメニューを表示する。(※90ページ)

DVDメニューを表示する。(※90ページ)

すべてのタッチキーを表示



DVDメニュー/タイトルメニューの項目を
選択・決定する。(※90ページ)

タッチキーの表示位置を切り替える。(※91ページ)

音声言語/字幕言語/アングルを切り替える。(※90ページ)

頭出しする

⏮ ⏭ にタッチする

タイトル1の最終チャプターからタイト
ル2の先頭チャプターのように、タイト
ルをまたいでの頭出しはできない場合が
あります。

一時停止する

再生中、⏸ にタッチする

通常の再生に戻すには
再度 ⏸ にタッチする。

再生を止める

■ にタッチする

止めたところから再生するには
(続き再生機能)

⏸ にタッチする。

ディスクの先頭から再生するには

①再度 ■ にタッチする。

② ⏸ にタッチする。

早戻し/早送りする

⏮ ⏭ にタッチする

押すごとに、速さが切り替わります。
1.5倍速 ↔ 10倍速

通常の再生に戻すには

⏸ にタッチする。

走行中は、DVDの映像は表示されません。
安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いて
ご覧ください。

下は、走行中の画面例です。



リモコン操作の場合

⏮ ⏭

頭出し

オートメモリー(+/-)
早送り/早戻し

⏸

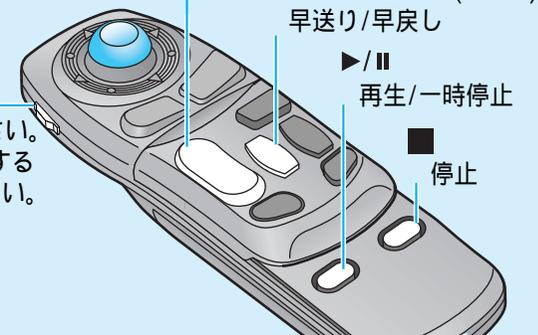
再生/一時停止

■

停止

操作切替スイッチ

通常は「NAVI」側で使用してください。
SD覚えてルート中にDVDの操作をする
ときは「AV」側に切り替えてください。



お知らせ

フォーマットが識別される少しの間、音声・映像がとぎれることがあります。

別売のデジタルサラウンドプロセッサCY-AC300Dを接続したときは、ディスク挿入後または
DVDに切り替えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音がとぎれることがあります。

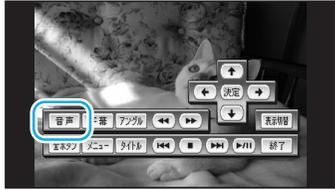
ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。(モニターに
「Q」が表示されます。) 詳しくは、ディスクのジャケットなどをお読みください。

DVDビデオを見る

音声言語/ 字幕言語/ アングルを 切り替える

音声言語を選ぶには

タッチキーから、**音声** を選ぶ



選ぶごとに、音声言語が切り替わります。

字幕言語を選ぶには

タッチキーから、**字幕** を選ぶ



選ぶごとに、字幕言語が切り替わります。

アングルを選ぶには

タッチキーから、**アングル** を選ぶ



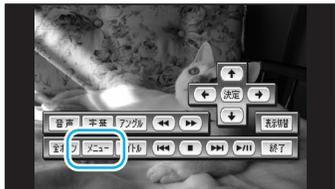
選ぶごとに、アングルが切り替わります。

お知らせ

字幕は、表示されるまで時間がかかる場合があります。DVDメニュー（下記）やDVD設定（98ページ）からでないと切り替えられない場合があります。電源を入れたときやディスクを入れ替えたときの音声言語や字幕言語は、DVD設定が優先されます。音声言語/字幕言語/アングルの数は、ディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

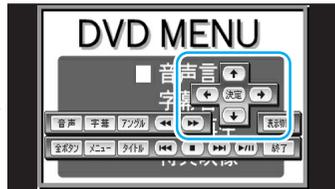
DVDメニューを 使う

- 1 タッチキーから、**メニュー** を選ぶ



DVDメニューが表示されます。

- 2 カーソルキーで項目を選び、**決定** を選ぶ



選んだ項目に切り替わります。

- 項目が選びにくいときは
表示切替 を選ぶ



タッチキーの位置が切り替わります。

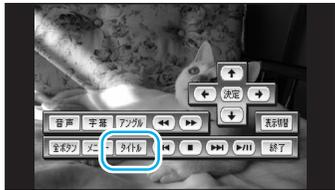


お知らせ

DVDメニューは、ディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。メニュー画面から、**DVDメニュー** を選んでも、DVDメニューが表示されます。（94ページ）

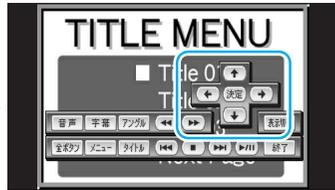
タイトルメニューを 使う

- 1 タッチキーから、**タイトル** を選ぶ



タイトルメニューが表示されます。

- 2 カーソルキーで項目を選び、**決定** を選ぶ



選んだ項目に切り替わります。

お知らせ

タイトルメニューは、ディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。メニュー画面から、**DVDタイトル** を選んでも、タイトルメニューが表示されます。（94ページ）

リモコン操作の場合



ジョイスティック/決定
項目を選択/決定する

- 2 : 音声言語を選ぶ
- 4 : 字幕言語を選ぶ
- 5 : DVDメニューを表示
- 6 : アングルを選ぶ
- 8 : タイトルメニューを表示

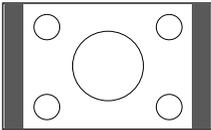
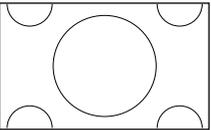
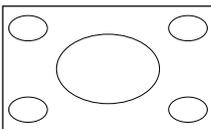
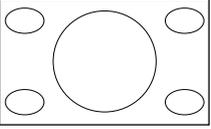
音声/映像の設定を変える

テレビ

DVD

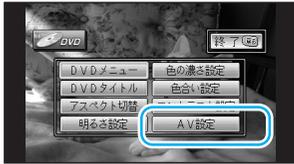
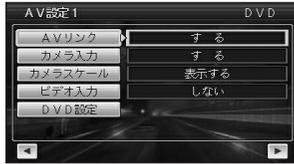
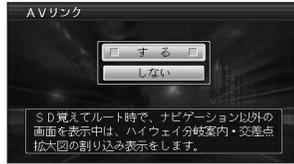
VTR

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目	内容	操作	
<p>1</p>  <p>確認を押す</p> <p>約10秒間何も操作しないと、メニューは消去されます。</p>		<p>2</p> 	<p>3</p> 
DVDメニューを表示する (90ページ)	DVDメニューが表示されます。 DVDビデオ再生時のみ、選択できます。	DVDメニュー を選ぶ	DVDメニューを操作する。 (ディスクの取扱説明書をご覧ください。)
タイトルメニューを表示する (90ページ)	タイトルメニューが表示されます。 DVDビデオ再生時のみ、選択できます。	DVDタイトル を選ぶ	タイトルメニューを操作する。 (ディスクの取扱説明書をご覧ください。)
画面の比率を変える(アスペクト)	画面の表示を切り替えます。 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。 ワイドでない通常(4:3)の映像をフル・ズーム・ジャストなどで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルをご覧ください。	アスペクト切替 を選ぶ	<p>「ノーマル」</p>  <p>通常の4:3(横:縦)の画面。 左右が黒くなります。</p> <p>「ズーム」</p>  <p>ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて伸ばした画面。 上下が少しカットされます。</p> <p>「フル」</p>  <p>全体を横方向に伸ばした画面。 どの位置でも、伸ばす比率は同じです。</p> <p>「ジャスト」</p>  <p>横方向に伸ばした画面。 両端に近いほど、伸ばす比率が大きくなります。</p>
画面の明るさを調整する	「+」明るくなる 「-」暗くなる	明るさ設定 を選ぶ	調整し、 終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15
色の濃さを調整する	「+」色が濃くなる 「-」色が薄くなる	色の濃さ設定 を選ぶ	調整し、 終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15
色合いを調整する	「+」緑色が強くなる 「-」赤色が強くなる	色合い設定 を選ぶ	調整し、 終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15
白と黒の差(コントラスト)を調整する	「+」白と黒の差がはっきりする 「-」白と黒の差が小さくなる	コントラスト設定 を選ぶ	調整し、 終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15

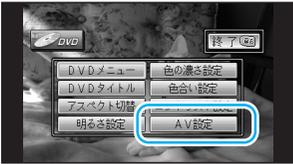
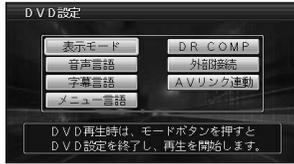
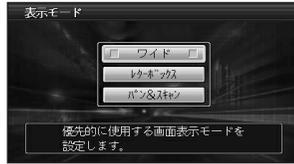
音声/映像の設定を変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目	内容	操作		
<p>1</p>  <p>ナビゲーションのメニュー画面 情報・設定 から、AV設定 を選んでも、AV設定画面が表示されます。</p> <p>約10秒間何も操作しないと、メニューは消去されます。</p>	<p>ナビゲーションのメニュー画面 情報・設定 から、AV設定 を選んでも、AV設定画面が表示されます。</p>	<p>2</p> 	<p>3</p>  <p>◀▶で次ページを表示</p>	<p>4</p> 
<p>AVリンクを設定する</p> 	<p>ナビゲーション以外の画面を表示中に交差点などに近づくと、交差点拡大図やハイウェイ分岐案内などの自動表示を行います。通過後、もとの画面に戻ります。 (SD覚えてルート中のみ)</p>	<p>AV設定 を選ぶ</p>	<p>AVリンク を選ぶ</p>	<p>「する」 「しない」を選ぶ</p>
<p>カメラ入力を設定する (☞114ページ)</p>	<p>車載用カメラを接続する/しないを設定する。 車両信号情報画面から リバースを確認するときは、「しない」に設定してください。(☞取付説明書)</p>		<p>カメラ入力 を選ぶ</p>	<p>「する」 「しない」を選ぶ</p>
<p>カメラスケール表示を設定する</p>	<p>カメラ画面にカメラスケールを表示する/しないの設定や、カメラスケールの調整をする。</p> <p>車載用カメラが、チェンジレバーをリバーに入ると電源がONになるように接続されている場合、以下の方法で設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① AV設定 カメラ入力 を「しない」に設定する。 ② チェンジレバーをリバーに入れる。 ③ AV設定 カメラスケール から「表示する」を選び、カメラスケールを調整する。 ④ AV設定 カメラ入力 を「する」に設定する。 		<p>カメラスケール を選ぶ</p>	<p>「表示する」 「表示しない」を選ぶ</p> <p>「表示する」を選んだ場合は、カメラスケールの調整をする。幅と角度を調整し、決定 を選ぶ。</p> 
<p>ビデオ入力を設定する (☞116ページ)</p>	<p>車載用ビデオなどを接続する/しないを設定する。</p>		<p>ビデオ入力 を選ぶ</p>	<p>「する」 「しない」を選ぶ</p>
<p>DVDビデオに関する設定をする (☞98ページ)</p>	<p>音声言語、字幕言語、メニュー言語など、DVD再生時の設定をする。</p>		<p>DVD設定 を選ぶ</p>	<p>各項目を設定する。</p>
<p>FMトランスミッターを設定する (☞114ページ)</p>	<p>FMトランスミッターを使用する/しないを設定する。「する」を選んだ場合は、周波数(76.0-78.4 MHz)を設定してください。</p>		<p>FMトランスミッター を選ぶ</p>	<p>「する」 「しない」を選ぶ</p>
<p>本機のスピーカーから出力される音声を設定する</p>	<p>本機のスピーカーからすべての音声を出力するか、ナビゲーションの音声のみを出力するかを設定する。FMトランスミッターを使用するときは、「ナビ音声専用」に設定してください。</p>		<p>本体スピーカー出力 を選ぶ</p>	<p>「AV・ナビ音声」 「ナビ音声専用」を選ぶ</p>
<p>ダイバーシティアンテナを設定する (☞116ページ)</p>	<p>別売のダイバーシティアンテナでテレビを受信するときに設定する。</p>		<p>ダイバー設定 を選ぶ</p>	<p>「ON」 「OFF」を選ぶ</p>

テレビ/DVD 音声/映像の設定を変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目	内容	操作		
<p>1 を押す</p> <p>約10秒間何も操作しないと、メニューは消去されます。</p>	<p>2 AV設定 を選ぶ</p> <p>メニュー画面 情報・設定 から、AV設定 を選んでも、AV設定画面が表示されます。</p> 	<p>3 </p> <p>◀▶次ページを表示</p>	<p>4 </p>	<p>5 </p>
DVDビデオの映像サイズを設定する	ワイドサイズのDVDビデオ再生時の映像サイズを設定する。	DVD設定 を選ぶ	表示モード を選ぶ	「ワイド」 「レターボックス」 「パン&スキャン」を選ぶ
音声言語を設定する (☞90ページ)	再生時、優先的に使用する音声言語を日本語/英語/中国語のいずれかに設定する。		音声言語 を選ぶ	「日本語」 「英語」 「中国語」を選ぶ
字幕言語を設定する (☞90ページ)	再生時、優先的に使用する字幕言語を日本語/英語/中国語のいずれかに設定する。		字幕言語 を選ぶ	「日本語」 「英語」 「中国語」を選ぶ
メニュー言語を設定する	再生時、優先的に使用するメニュー言語を日本語/英語のいずれかに設定する。		メニュー言語 を選ぶ	「日本語」 「英語」を選ぶ
小さな音でも聞き取りやすくする (ダイナミックレンジコンプレッション) DVDビデオ再生時、会話などの音量が小さく、聞き取りにくい場合があります。このようなときにこの設定をすると、聞き取りやすくなります。	小さな音が大きく、大きな音が小さくなるように調整する。 MINIMUM : 最も圧縮した、一般のテレビ放送などに近いモード (効果大) STANDARD : ソフトの制作者が小音量での視聴用として推奨するモード (効果小) OFF : 圧縮しない、映画館そのままのモード (効果なし) 音声入出力端子やFMトランスミッターを使用しているときなど、小さな音が聞き取りにくいときは、「MINIMUM」に設定してください。		DR COMP を選ぶ	「MINIMUM」 「STANDARD」 「OFF」を選ぶ
音声入出力端子に接続する機器の有無を設定する (☞118ページ)	音声入出力端子から音声を出力する (有り)/しない (無し) を設定する。 「有り」に設定すると、家庭用のテレビなどで聞くのに適した音質に調整された音声が出力されます。		外部接続 を選ぶ	「有り」 「無し」を選ぶ
AVリンクに連動し、ディスクを一時停止する/しないを設定する	AVリンク (☞96ページ) に連動して、拡大図の表示中にDVDビデオの再生を一時停止する。 拡大図が消えると、続きを再生します。		AVリンク連動 を選ぶ	「連動する」 「連動しない」を選ぶ

日本語、英語、中国語 (音声言語/字幕言語のみ) 以外の言語が収録されている場合は、タッチキーで選んでください。(☞90ページ)

お知らせ

DVD再生中にDVD設定を行うと、再生は一時停止されます。

を押すと、DVD設定を終了し、再生を開始します。

SDメモリーカードを使う

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源を「切」または車のACCをOFFにする、SDメモリーカードを取り出す、ディスクカバーを開けるなどしないでください。

SDメモリーカード（別売）について

データを記録するためのカードで、SDオーディオや動画ファイルの記録媒体として、よく用いられています。

本機では、マルチメディアカードやスマートメディアを使用することはできません。

容量が32 MB/64 MBのSDメモリーカードは、SD覚えてルートには使えません。
(約120 MB以上の空き容量が必要です。)

SDメモリーカード(推奨品)

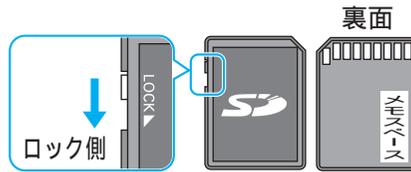
容量	品番 (Panasonic)
32 MB	RP-SD032BL1A
64 MB	RP-SD064BL1A
128 MB	RP-SD128BL1A
256 MB	RP-SDH256N1A
512 MB	RP-SDH512N1A

大切なデータを保護するために

読み込み専用で使用するときは、書き込み禁止スイッチをロック側（LOCK）にすることを推奨します。

通常使用するときは、書き込みができるようにロックを解除してください。

メモスペースに文字を書くときは、フェルトペン（油性）を使用してください。鉛筆やボールペンを使うと、カードに損傷を与えたり、データが破壊されたりすることがあります。



本機では、SDメモリーカードを使って以下のことができます

登録ポイント・ルート設定メモリー・走行軌跡メモリーの保存

万一のときのために、これらのデータのバックアップをとっておくことができます。

地図画面の保存

本機の地図画面をSDメモリーカードに保存して、パソコンやPDA（ザウルスなど）で見ることができます。（ザウルス：シャープ株式会社製のパーソナルモバイルツール）

パソコンで作成したカスタムデータの保存

JPEG形式の画像データを、壁紙（オープニング画像、メニュー背景）として使うことができます。

SD覚えてルート

地図ディスクの中から必要な地域の地図を選んでSDメモリーカードに保存すると、地図ディスクがなくても、SDメモリーカード内の地図をもとにルート探索やルート案内、VICS情報表示などのナビゲーション機能が使えます。（110ページ）

SD覚えてルート中は、ナビゲーションを使いながらDVDビデオやTVなどの音声を同時に楽しむことができます。（ナビゲーションを使いながら、DVDビデオやTVの映像を見ることはできません。）

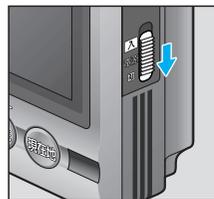
お知らせ

パソコンを使ってデータのやり取りをするには、パソコン、SDメモリーカードリーダーライター [PCカードアダプター(Panasonic) : BN-SDAAP3B/USBリーダーライター : BN-SDCEP3] が別途必要です。

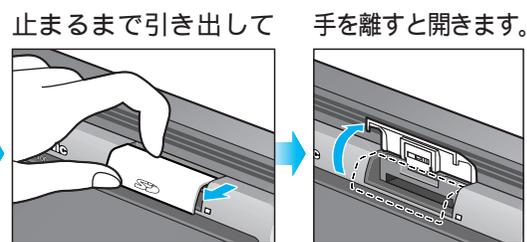
各機器との相性により、パソコンで初期化したSDメモリーカードが本機では正しく認識されない場合があります。そのときは、本機で初期化してください。（108ページ）

SDメモリーカードを本機に入れる

1 本機の電源を「切」にする

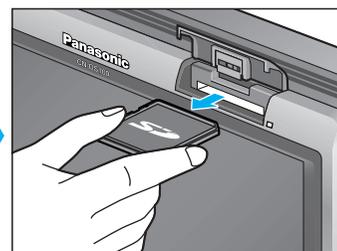
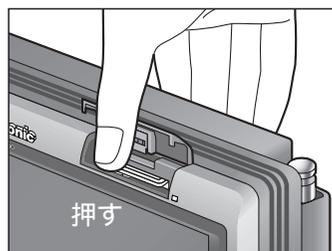


2 ふたを手前に引いて、開ける



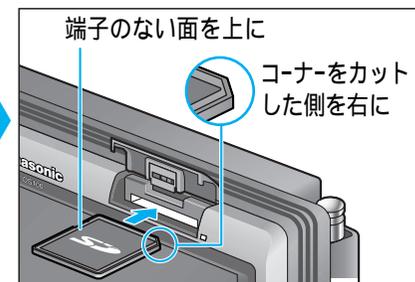
取り出すには

ナビゲーションの後面を押さえながら、親指でSDメモリーカードの中央部を押す
本機の電源が「切」の状態で行ってください。



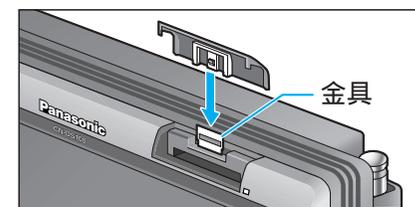
3 SDメモリーカードを奥まで挿入する

必ず、ふたを閉めてください。



ふたがはずれたときは

ふたのみぞを本体の金具に合わせ、はめ込む



お知らせ

長時間お使いになったあと、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。

取り出したSDメモリーカードは、ケースに入れて保管してください。

SDメモリーカードの挿入口に異物を入れないでください。カードスロットを傷つけて、SDメモリーカードを破損する原因になります。

金具が変形した場合は、ペンチなどでもとの形に戻してください。

SDメモリーカードを使う

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源を「切」または車のACCをOFFにする、SDメモリーカードを取り出す、ディスクカバーを開けるなどしないでください。

SDメモリーカードに 登録ポイントを 保存する

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

1 メニュー画面「データ」から
「SDカード」を選ぶ

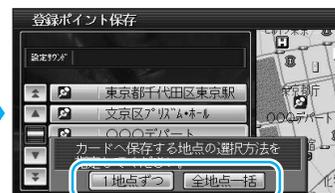


「メモリーカード画面」が表示されます。

2 「登録ポイント」の
「保存」を選ぶ

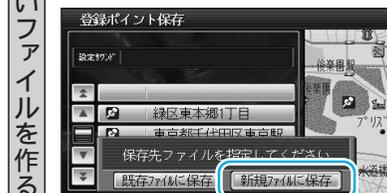


3 1地点ずつ 全地点一括
のいずれかを選ぶ



1地点だけ保存するとき
「1地点ずつ」を選び、
地点を選ぶ。
すべての地点を一括して
保存するとき
「全地点一括」を選ぶ。

4 新規ファイルに保存
を選ぶ

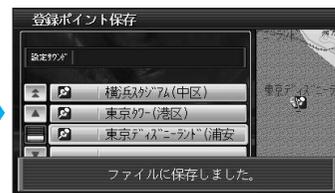


新しいファイルを作る

5 ファイル名を入力し、
「完了」を選ぶ



ファイルが保存されます。

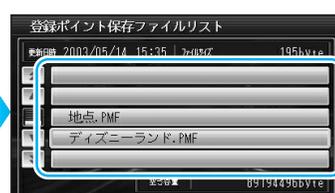


4 既存ファイルに保存
を選ぶ

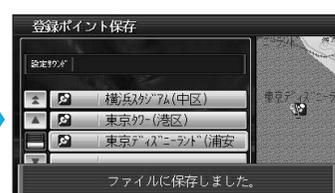


今あるファイルに追加する

5 リストから
地点ファイルを選ぶ



ファイルが保存されます。



お知らせ

ファイル名は、全角10文字（半角20文字）まで。
登録ポイントのファイルには自動的に拡張子(PMF)が付きます。
自宅やワンタッチ探索地点をSDメモリーカードに保存しても、普通の登録ポイントとして保存されます。(自宅、ワンタッチ探索地点として保存されません。)

メニュー画面「データ」から、「登録ポイント」 「SDカード」を選んで、登録ポイントの保存/呼び出しができます。

SDメモリーカードから 登録ポイントを 呼び出す

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

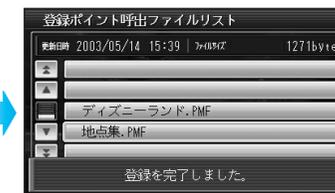
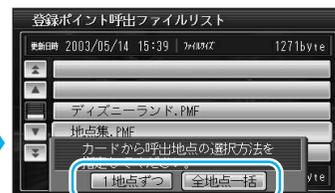
1 メモリーカード画面から、
「登録ポイント」の
「呼出」を選ぶ



2 リストから
地点ファイルを選ぶ



3 1地点ずつ または 全地点一括 を選ぶ



ファイルの中の1地点だけを呼び出すとき
「1地点ずつ」を選び、呼び出す地点を選ぶ。
ファイルの中のすべての地点を呼び出すとき
「全地点一括」を選ぶ。

お知らせ

すでに登録されている登録ポイントをSDメモリーカードから呼び出すと、同じ地点に登録ポイントが複数あることになります。不要な場合は消去してください。(※50ページ)

呼び出す登録ポイントと本機の登録ポイントの合計が200を超える場合は呼び出せません。本機の登録ポイントを必要に応じて消去してください。(※50ページ)

SDメモリーカードを使う

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源を「切」または車のACCをOFFにする、SDメモリーカードを取り出す、ディスクカバーを開けるなどしないでください。

SDメモリーカードに 走行軌跡メモリー を保存する

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

- メモリーカード画面から、「走行軌跡メモリー」の「保存」を選ぶ



メモリーカード画面 (P.102ページ)

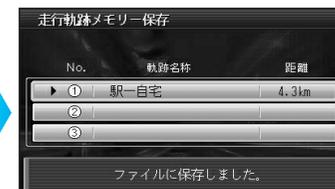
- 保存したい走行軌跡メモリーを選ぶ



- ファイル名を入力し、「完了」を選ぶ



ファイルが保存されます。



お知らせ

ファイル名は、全角10文字（半角20文字）まで。
走行軌跡メモリーのファイルには自動的に拡張子(KMF)が付きます。
メニュー画面「データ」から、「走行軌跡メモリー」 「SDカードを利用」を選んで、ルート設定メモリーの保存/呼び出しができます。

SDメモリーカードから 走行軌跡メモリー を呼び出す

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

- メモリーカード画面から、「走行軌跡メモリー」の「呼出」を選ぶ



- リストから走行軌跡メモリーのファイルを選ぶ



本機に登録されます。



お知らせ

走行軌跡メモリーが本機に3件ある場合、SDメモリーカードから呼び出せません。
必要に応じて、本機から走行軌跡メモリーを消去してください。(P.54ページ)

SDメモリーカードに ルート設定メモリー を保存する

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

- メモリーカード画面から、「ルート設定メモリー」の「保存」を選ぶ



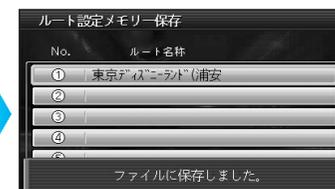
- 保存したいルート設定メモリーを選ぶ



- ファイル名を入力し、「完了」を選ぶ



ファイルが保存されます。



お知らせ

ファイル名は、全角10文字（半角20文字）まで。
ルート設定メモリーのファイルには自動的に拡張子(RMF)が付きます。
メニュー画面「データ」から、「ルート設定メモリー」 「SDカードを利用」を選んで、ルート設定メモリーの保存/呼び出しができます。

SDメモリーカードから ルート設定メモリー を呼び出す

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

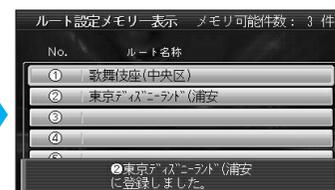
- メモリーカード画面から、「ルート設定メモリー」の「呼出」を選ぶ



- リストからルート設定メモリーのファイルを選ぶ



本機に登録されます。



お知らせ

ルート設定メモリーが本機に5件ある場合、SDメモリーカードから呼び出せません。
必要に応じて、本機からルート設定メモリーを消去してください。(P.56ページ)

SDメモリーカードを使う

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源を「切」または車のACCをOFFにする、SDメモリーカードを取り出す、ディスクカバーを開けるなどしないでください。

地図画面を保存する

地図画面(408×240ドット)をJPEGファイルとしてSDメモリーカードに保存して、パソコンやPDA(ザウルスなど)で見ることができます。

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

1 メモリーカード画面から、「地図データ」の「保存」を選ぶ



メモリーカード画面 (※102ページ)

2 画像の種類を選ぶ



地図が表示されます。

1画面 : パソコンなどで見ることができます。

ザウルス : ザウルスで見ることができます。

3 場所を選んで、「決定」を選ぶ



縮尺切替、地図スクロール、地図回転ができます。

1画面 を選んだときは、地図の傾きも変えられます。

4 確認 を選ぶ



5 ファイル名を入力し、「完了」を選ぶ



お知らせ

保存できる地図画面は、スタンダードマップとドライビングマップのみです。

10 m ~ 25 m縮尺のドライビングマップの建物の形は、一部保存できない場合があります。

地図上のルート表示、登録ポイント、自転車マークも画像として保存されます。1画面を選んだときは、VICSレベル3情報も画像として保存されます。

ファイル名には制限があります。

1画面 : 全角10文字(半角20文字)まで

ザウルス : 半角英数8文字まで

地図画面ファイルには自動的に拡張子「jpg」が付きます。

ザウルスを選んだ場合は、SDメモリーカードに「_ZAURUS」フォルダが自動的に作成され、その中に保存されます。

保存した地図をザウルスで見るときは、「フォトメモリー」で表示してください。(地図ビューアで見ることができません。)

詳しくは、ザウルスの取扱説明書をご覧ください。

画像データを利用する

パソコンで作成した画像データを、オープニング画面やメニュー画面の背景として利用できます。(408×240ドットのみ)

利用時は、画像データが記録されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。

準備

1 パソコンで画像データを作る

2 SDメモリーカードに画像データを保存する

保存後、SDメモリーカードを本機に挿入してください。

画像データは、以下の条件で作ってください。

- ・408×240ドットのみ(フォトタッチソフトなどで、サイズを調整してください。)
- ・50 kB以内
- ・JPEG形式(拡張子jpg)(形式オプションが選べる場合は「ベースライン」を選ぶ。)
- ・ファイル名255文字まで(全角の場合127文字まで)

1 メモリーカード画面から、「画像データ」の「オープニング/メニュー背景」を選ぶ



2 ファイル選択 を選ぶ



3 ファイルを選ぶ



選んだ画像が、オープニング画面/メニュー背景に設定されます。



プレビュー : 表示される画像を確認できます。
標準に戻す : お買い上げ時の画面に戻ります。

お知らせ

メニュー画面「情報・設定」から、ナビゲーション設定 システム設定 オープニング (メニュー背景) を選んでも設定できます。

設定を終了するには、**戻る**を押してください。

SDメモリーカードを使う

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源を「切」または車のACCをOFFにする、SDメモリーカードを取り出す、ディスクカバーを開けるなどしないでください。

SDメモリーカード内のファイルを消去する

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

- ① メモリーカード画面から、「SDカード」の「消去/初期化」を選ぶ



メモリーカード画面 (102ページ)

- ② 「ファイルの消去」を選ぶ



- ③ ファイルを選ぶ



- ④ 「確認」を選ぶ



ファイルが消去されます。



お知らせ

登録ポイントの保存ファイルを消去すると、そのファイルの中に保存されていた登録ポイントはすべて消去されます。登録ポイントごとには消去できません。

SDメモリーカードを初期化する

- ① メモリーカード画面から、「SDカード」の「消去/初期化」を選ぶ



- ② 「初期化」を選ぶ



- ③ 「確認」を選ぶ



SDメモリーカードが初期化されます。



お知らせ

本機以外の機器(パソコンなど)でSDメモリーカードを初期化した場合、本機では使用できないことがあります。本機で初期化してから使用してください。

初期化すると、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。

消去・初期化により消滅したデータは、もとに戻せません。十分確認したうえで行ってください。

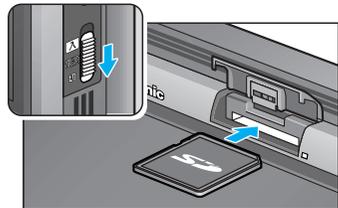
SD覚えてルートを使う

ディスクやSDメモリーカードの出し入れは、必ず停車中に行ってください。

ナビゲーションを使いながらDVDビデオ/テレビの音声を楽しめます

1 準備する

- 1 本機の電源を「切」にして、SDメモリーカードを挿入する



- 2 本機の電源を「入」にして、ルートを探索する



あらかじめルートを作ってから、SD覚えてルートを起動してください。

お願い

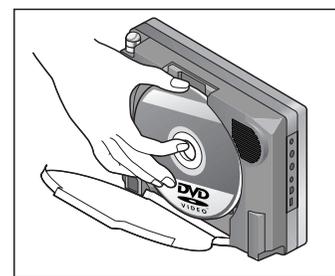
「SD覚えてルートの制限について(134ページ)」をご覧ください。

2 SD覚えてルートを起動する

- 1 SDメモリーカードに、地図を保存する(下記)



- 2 本機の電源を「切」にして、地図ディスクを取り出し、DVDビデオを挿入する。



- 3 本機の電源を「入」にする



SD覚えてルートが起動し、自動的に再探索を行い、ルート案内が始まります。

お願い

ルート案内が始まるまで、
・本機の電源をOFFにしない
・走行しない

3 SD覚えてルート中()に、DVDビデオなどを操作する

- 1 **モード** を押し、画面を切り替えて、
- 2 タッチパネルで操作し、(例：チャプターを選ぶ)
- 3 **戻る** を押し、ナビ画面に切り替える。

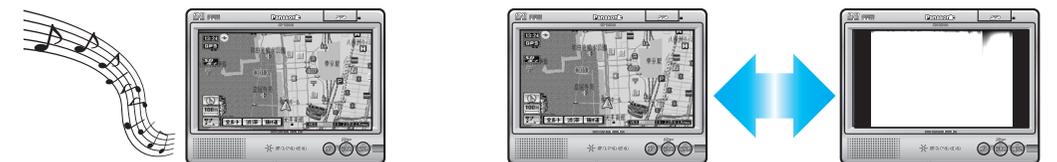


DVDビデオの音声を出したまま、ナビ画面に切り替わります。

使用例(便利な使いかた)

ナビゲーションを使いながらコンサートのDVDを再生し、音楽を楽しめます。

DVDビデオと地図ディスクを入れ替えずに、DVDビデオ再生とナビゲーションを切り替えられます。



リモコンの操作切り替えスイッチを「AV」側にすると、ナビ画面を表示させたまま、リモコンでDVDなどを操作できます。ナビゲーションを操作するときは、「NAVI」側に戻してください。

SDメモリーカードに地図を保存する

約120MB以上の空き容量のSDメモリーカードが必要です。

- 1 メニュー画面 **データ** から **SD覚えてルート** を選ぶ



- 2 保存するエリアを選ぶ
例：南関東



推奨保存エリア
現在地などの情報をもとに割り出されます。複数のエリアが表示される場合は、目的地の場所などを考慮し、エリアを選んでください。

- 3 **確認** を選ぶ



選んだエリアの地図がSDメモリーカードに保存されます。保存には、数分間(約2~3分)かかる場合があります。

お願い

データ保存中は、
・SDメモリーカードを取り出さない
・本機の電源をOFFにしない
・ディスクカバーを開けない
・カメラ画面を表示しない

戻る を押し、保存を中止します。

SD覚えてルートを使う

ディスクやSDメモリーカードの出し入れは、必ず停車中に行ってください。

ルート案内できるエリアについて

ルート探索後、SD覚えてルートを起動した場合、目的地の場所(エリア)によっては、

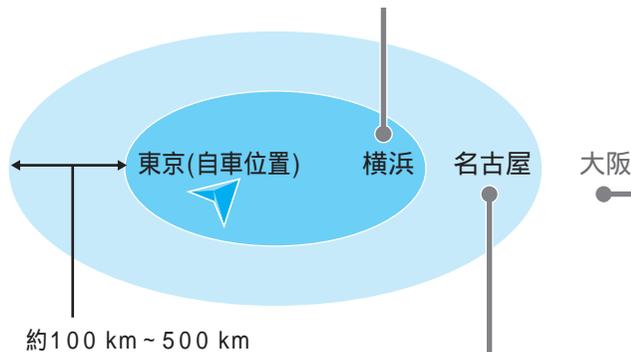
- ・ルート案内されます。
(目的地がエリア内の場合)
- ・最後までルート案内されません。
(目的地がエリア周辺の場合：☞下記)
- ・まったくルート案内されません。
(目的地がエリア外の場合：☞右記)

SD覚えてルート中にルート探索する場合、登録ポイント、検索履歴、緯度経度、自宅を検索できます。

目的地が「エリア内/エリア周辺」の場合は、ルート探索/ルート案内されます。
目的地が「エリア外」の場合は、ルート探索/ルート案内されません。

概念図

目的地が「エリア内」の場合
目的地までルート案内されます。



目的地が「エリア周辺」の場合
(エリアの端から約100 km ~ 500 kmの範囲)
エリア内ではルート案内されますが、エリア周辺ではルート案内されません。
下記の方法で再度エリアを保存してください。

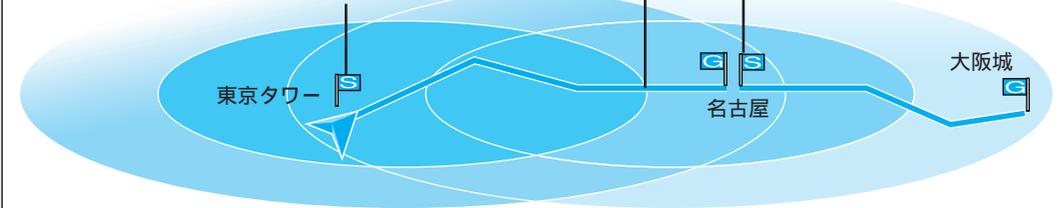
目的地がエリア外の場合

ルート探索およびルート案内できません。地図ディスクを挿入して通常のナビゲーションでルート探索およびルート案内するか、以下の方法で探索しなおしてください。

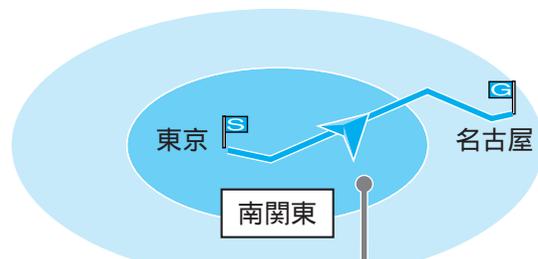
エリア内(またはエリア周辺)に目的地を設定する
SD覚えてルートの機能は使えますが、当初の目的地までは案内されません。
エリアの更新とルート探索を繰り返してください。

例：東京タワーから大阪城(エリア外)まで案内させるには

- ①大阪城をポイント登録する。
- ②名古屋(エリア周辺)までのルートを探し、南関東エリアを保存し、SD覚えてルートを起動する。
- ③甲信・東海エリアに更新する。
- ④手順①で登録したポイントから、大阪城(エリア周辺)までのルートを探る。



SD覚えてルート中に エリアから 出てしまうときは (目的地がエリア周辺の場合)

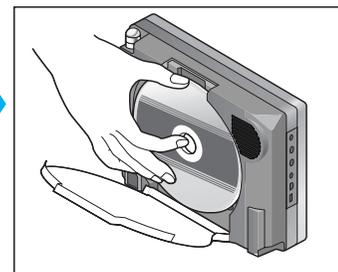


エリアの端に近づくと、メッセージが表示されます。

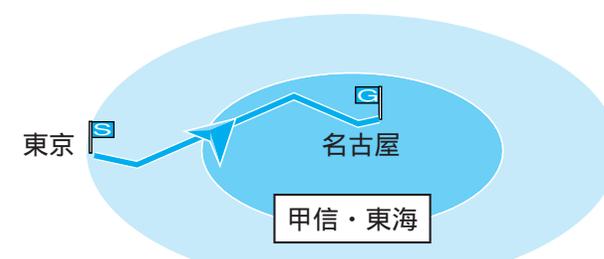


まもなく、保存している地図エリアから外れます。
地図ディスクをご利用ください。

- ① 安全な場所に停車して、本機の電源を「切」にして、地図ディスクを挿入する



地図ディスクを挿入後、本機の電源を「入」にしてください。



- ② メニュー画面「データ」、SD覚えてルートから先のルートがある推奨保存エリアを選び、保存する

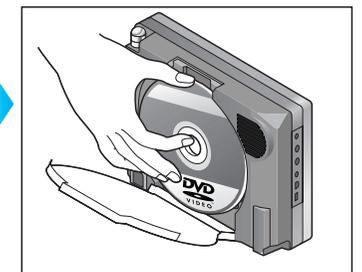


先のルートがある推奨保存エリア



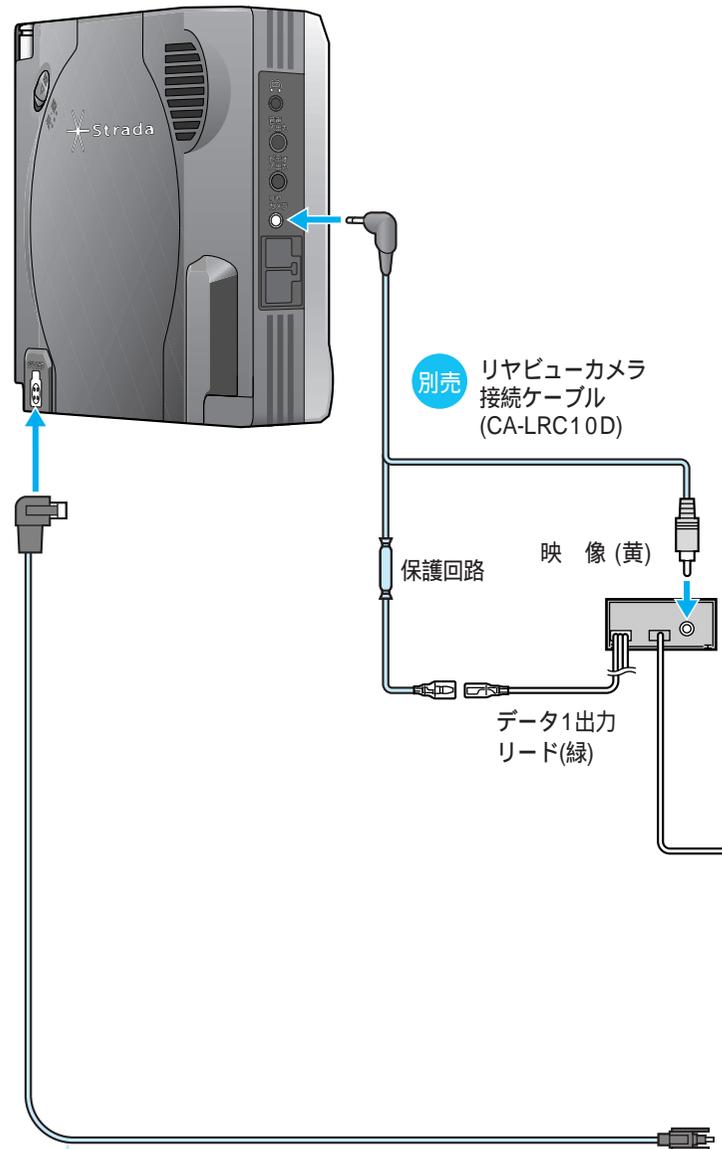
SDメモリーカード内のエリアが更新されます。

- ③ 本機の電源を「切」にして、地図ディスクを取り出し、DVDビデオを挿入する



本機の電源を「入」にすると、SD覚えてルートが起動します。
DVDビデオは、ディスクの先頭から再生を始めます。

他の機器(別売品)と組み合わせて使う



FMトランスミッターを使う

カーオーディオ (FMラジオ)



カーオーディオをFMラジオに切り替え、周波数をFMトランスミッターの設定にする。

本機の音声、FMラジオから出力されます。
(周波数を変更するには 96ページ)
「本体スピーカー出力」を「ナビ音声専用」に設定してください。(98ページ)
「DR COMP」を「MINIMUM」に設定してください。(98ページ)

カーオーディオから出力される音声について
テレビの音声はモノラルです。
DVDビデオの音声はステレオです。

お願い

音量は、カーオーディオ側で調整してください。
FMトランスミッターの周波数がFM文字多重放送の放送局と周波数が同じとき(または、0.1 MHzしか差がないとき)は、周波数を変更してください。
混信をさけるために、FMトランスミッターを使用しないときは、「しない (OFF)」にしてください。(96ページ)

お知らせ

車のFMラジオのアンテナの位置によっては、FMトランスミッターの信号が受信しにくい場合があります。

車載用カメラに切り替える

必ず「カメラ入力」を「する」に設定してください。
(96ページ)

別売 車載用カラーカメラ (TW-CC160Bなど)



車のチェンジレバーを「R(リバース)」に入れる
カメラの映像が表示されます。

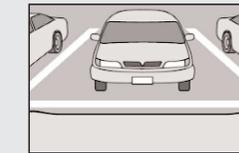
モードをカメラに切り替えたときも、表示されます。



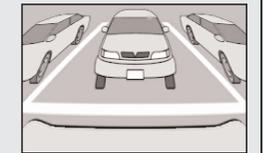
お願い

車両をバックさせる際には、必ず目視でも確認してください。

実際の視野

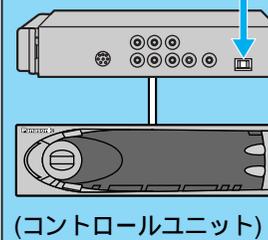


カメラの視野



ドルビーデジタル5.1chを楽しむ

別売 デジタルサラウンドプロセッサ (CY-AC300D)



DVDビデオの再生時、ドルビーデジタル5.1chの
音声を楽しむことができます。

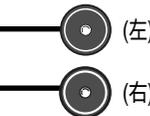
別売 4チャンネルブリッジャブル
パワーアンプ(CY-M9054D)



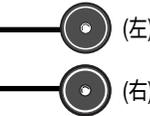
別売 センタースピーカー (CJ-SD100D)



別売 サブウーファー (CJ-BL100D)



別売 フロントスピーカー



別売 リアスピーカー

別売 デジタル音声接続用光ファイバケーブル (CA-LRD60D : 6 m) (CA-LRD30D : 3 m)
傷つけたり、破損するようなこと (ドアなどに挟む、重いものを上に置くなど) はしないでください。急な角度に折り曲げないでください。

他の機器(別売品)と組み合わせて使う
別売品

他の機器(別売品)と組み合わせて使う

ビデオカメラなどを接続する

別売 AVコード (CA-LO93D)

市販 ビデオカメラ

音声(黒) 映像(黄)

音声右(赤) 音声左(白) 映像(黄)

必ず「ビデオ入力」を「する」に設定してください。(☞96ページ)

モード を押して、VTR画面に切り替える。

本機のTVモニターに、車載用ビデオなどの映像が表示されます。本機に内蔵のスピーカーから出力される音は、モノラルです。VTR画面のアスペクト・明るさ・色合いは、テレビ画面と同じになります。

お願い

AVコードを使って本機とカーオーディオを接続しないでください。ノイズが発生する場合があります。

自立航法ユニットを接続する

別売 自立航法ユニット (CY-SG50D)

自転車位置をより正確に表示できます。

GPS信号を受信しにくい場所(☞131ページ)でも、車速パルスやジャイロの情報をもとに方位や位置を検出し、現在地を表示します。

お願い

自立航法ユニットのコードを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。

VICSビーコンユニットを接続する

別売 VICSビーコンユニット (CY-TBX55D)

電波/光ビーコンからVICS情報を受信できるようになります。

電波/光ビーコンからのVICS情報については、「VICS情報を見る」(☞58ページ)をご覧ください。

ダイバーシティアンテナを接続する

別売 ダイバーシティアンテナ (CL-T70Dなど)

車内でテレビを見るときに、付属のフィルムアンテナに比べて受信状態が安定します。

必ず、ダイバー設定を「ON」に設定してください。(☞96ページ)

リアウィンドウ(室外)取付型 (CL-T70D)	リアウィンドウ(室内)取付型 (CL-T80D)	フロントウィンドウ貼付型フィルムアンテナ (CL-T90D)
--------------------------	--------------------------	--------------------------------

アンテナコードが左右1本ずつのダイバーシティアンテナを接続する場合はダイバーシティアンテナを、「TV-アンテナ」と書かれた端子に接続してください。(3つの端子のいずれかに接続してください)

付属のフィルムアンテナを、「VICS」と書かれた端子に接続してください。

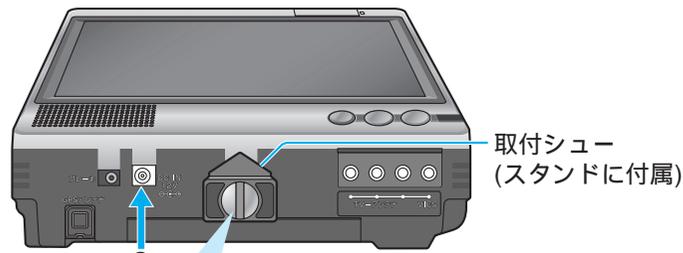
フィルムアンテナ(付属)のコード

別売 ダイバーシティアンテナのコード

カバーを開く

他の機器(別売品)と組み合わせて使う 別売品

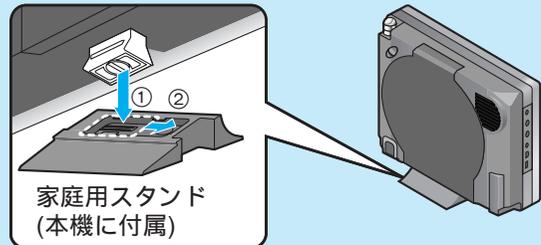
他の機器(別売品)と組み合わせて使う



取付シュー
(スタンドに付属)

倒れないようにするために、
家庭用スタンドを取り付けてください。

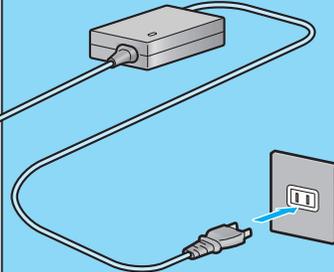
- ① 取付シューを家庭用スタンドにはめ込む
 - ② スライドさせる
- 取りはずすときは、取り付け時とは逆方向に
スライドさせてください。



家庭用スタンド
(本機に付属)

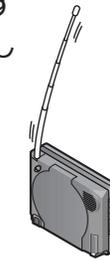
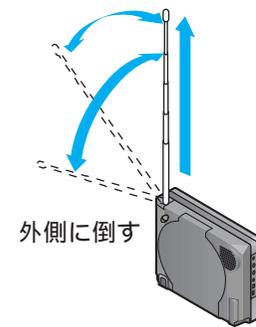
ACアダプターを 接続する

別売 ACアダプター
(CY-ZAC20D)



家庭内でテレビを見るときは

- ① ロッドアンテナを伸ばす
回転部を完全に引き出し
てください。
- ② 角度を調整する



✗ 前方に傾けない。

安全のため、前方に傾ける
ことはできません。
無理に傾けると、破損の
原因になります。

お願い

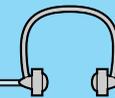
専用のACアダプター以外は
使用しないでください。
故障の原因になります。
本機にACアダプターを接続し
ないときは、コンセント側も抜い
てください。

お知らせ

本機を車から取りはずして使用
しているときは、VICS情報は
受信できません。

ヘッドフォンを 接続する

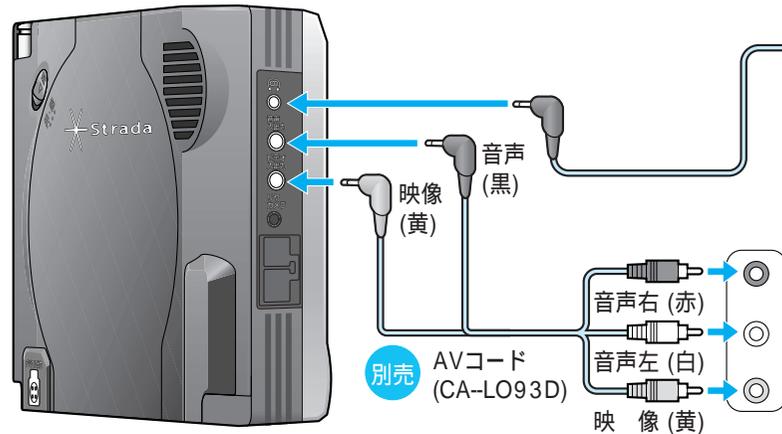
市販 ヘッドフォン



本機の音声をヘッドフォンで聞くことができます。
ヘッドフォンを接続すると、内蔵のスピーカーから音声は出ません。

お願い

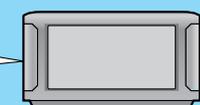
耳を刺激するような大きな音量で長
時間聞くことは避けてください。
ヘッドフォンを装着したまま、本機
の電源をON/OFFしないでくださ
い。耳を刺激するような音が出る
ことがあります。



別売 AVコード
(CA-LO93D)

家庭用テレビに 接続する

市販 家庭用テレビ

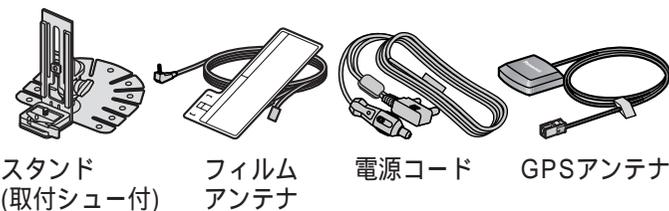


必ず「外部接続」を「有り」に設定してください。(P.98ページ)
家庭用テレビに接続して、DVDプレーヤーとして
使用できます。

お願い

本機の音声を家庭用テレビで聞く
ときは、テレビ放送に比べて小さく
感じられます。家庭用テレビ側の
音量を上げたときは、テレビ放送に
切り替える前に必ずもとの音量に戻
してください。突然大きな音が出る
ことがあります。

別売 ポータブルナビ用のせかえキット
(CA-FN40D)



スタンド (取付シュー付) フィルムアンテナ 電源コード GPSアンテナ

上記の部品は主な内容物です。(本機の付属品と同じもの)

本機を他の車に のせかえる

別売の自立航法ユニット
を接続する場合は、必ず
「車速パルス」「学習レベル」
「ジャイロ角度補正」を
リセットしてください。
(P.7ページ、取付説明書)

